

【平成15年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|---------|---|
| 事業名 | 専修学校と企業（薬局等）との連携による医療事務分野でのIT化人材育成教育 | | |
| 学校法人名 | 山口コア学園 | | |
| 学校名 | 山口インフォメーション・カレッジ | | |
| 代表者 | 理事長 種村 良平 | 担当者・連絡先 | 事務長 藤本 英幸(ふじもと ひでゆき) 〒753-0054 山口市富田原町2番23号 TEL083-932-0118 |

<事業の概要>

雇用対策の1つに、再雇用のための教育プログラム「医療事務」が実施されているが、再就職には経験や資格及びIT活用能力が必要とされる。そこで、わが国の“医薬分業”が急速に進んでいるなかで、本事業は医療業界のなかの特に保険薬局に焦点を当て、必要とされるIT化人材を供給するために、すべての受講生が「医療事務」のさらなるキャリアアップとして、調剤薬局事務に関する資格を取得するための教育プログラムを開発し、これを受講することで、資格を取得することを目的とした。さらに就職のための実務教育にIT技術の習得を取り入れ、薬局業務に対応した薬局業務ソフトウェアを使い、薬局業務を習得した。こうした医療の基礎事務教育と調剤薬局事務教育、さらにITを活用した薬局業務ソフトウェアを利用した一貫の教育プログラムを開発し、他地域で適用性を実証した。また、最終的に薬局または医療機関への再就職を促進した。

<成果>

基礎（医療事務）教育講座を3ヶ月実施し、医療事務管理士認定試験に10名中10名の合格者（合格率100%）を出した。また、スペシャリスト（調剤薬局事務）教育講座を1ヶ月実施し、調剤薬局事務試験10名中9名の合格者（合格率90%）を出した。このような結果を踏まえ、本事業の目的とする成果を上げることができた。

IT化人材の育成面では、基礎教育講座でパソコンのExcel&Word初級実習講座とインターネットの活用実習講座、及びスペシャリスト教育講座で調剤薬局業務ソフトを利用したレセプト入力実習講座を行い、実務能力を養成することができた。

スペシャリスト教育講座に入り、調剤薬局の先生（薬剤師）の講話では、調剤薬局の現状、薬の話、接客マナーの心構えを聞くことができた。また、薬局の見学では受付の役割、調剤入力（レセコン）現場の説明、接客の心がけ、調剤室の説明、機械化の状況を知ることが出来た。さらに総仕上げとして、調剤薬局の先生の指導で、薬局を想定したロールプレイング実習を行い、実務能力を養成することができた。このような成果を通し、受講中に医療機関及び調剤薬局へ3名の就職内定者を出した。



【薬局見学の様子】

以上のように教育プログラムを開発し、それを他地域で検証しながら実証することができ、早期に再就職にも結びつく結果となり、目標とする成果を上げることができた。